

米国疾病管理予防センター (CDC) の予防
接種の実施に関する諮問委員会
CDC Advisory Committee on Immunization
Practices (ACIP)

国立感染症研究所感染症情報センター
岡部信彦

Advisory Committee on Immunization Practices (ACIP) 予防接種の実施に関する諮問委員会

- 保健社会福祉省 (Department of Health and Human Services [DHHS])長官ならびに疾病管理予防センター (the Centers for Disease Control and Prevention [CDC])に対して助言と提案を行う
- 15人の構成委員から構成されている
- 関連の行政担当者(EX Office)の出席
- 協力機関・企業の代表者(liaison representative)の出席
- 技術的な支援組織
 - 全米予防接種プログラム(NIP)
 - 米国国立感染症センター(NCID)
- 毎年2月・5月・10月に会議を開催している

〈予防接種の実施に関する諮問委員会〉の構成

委員長：1名
(chairman)

執行行政官：1名
(acting executive secretary)

委員長以外の構成委員
(member) 14名

行政担当者：8名
(EX Office)

協力機関・企業の代表者
(liaison representative) 25名

(合計49名)

インディアン健康局
保健資源事業局 (HRSA)
社会福祉保険・低所得者保険局
食品医薬品局 (FDA)

国防総省
国家予防接種プログラム局
国立衛生研究所 (NIH)
在郷軍人局

Advisory Committee on Immunization Practices ACIPの業務内容

● 作業部会(Working Groups)の設置

- 細部にわたる調査, 方針に関するオプションの準備, 草案の策定

● ACIPの発行するワクチンに関する各種情報・資料を米国公衆衛生週報(MMWR)に掲載する

● 小児予防接種プログラム(Vaccines for Children Program [VFC])の策定

予防接種の実施に関する戦略

● 定期予防接種

- 乳幼児・小児期
- 成人

● ハイリスク者に限定した予防接種

- 患者の医学的な状態に対応
- 職業感染関連
- 海外渡航者対象の予防接種プログラム
- 曝露後の対策 (即ち狂犬病)
- 感染症のアウトブレイク時の対策

米国の予防接種スケジュール-2005年版

Vaccine	Birth	1 mo	2 mos	4 mos	6 mos	12 mos	15 mos	18 mos	24 mos	4-6 yrs	11-12 yrs	13-18 yrs
Hepatitis B ²	HepB #1	only if mother HBsAg (-)			HepB #3				HepB series			
		HepB #2										
Diphtheria, tetanus, pertussis ³			DTaP	DTaP	DTaP		DTaP			DTaP	Td	Td
<i>Haemophilus influenzae</i> type b ⁴			Hib	Hib	Hib ⁴	Hib						
Inactivated poliovirus			IPV	IPV	IPV					IPV		
Measles, mumps, rubella ⁵						MMR #1				MMR #2	MMR #2	
Varicella ⁶						Varicella			Varicella			
Pneumococcal ⁷			PCV	PCV	PCV	PCV			PCV	PPV		
Influenza ⁸					Influenza (yearly)				Influenza (yearly)			
----- Vaccines below red line are for selected populations -----												
Hepatitis A ⁹									Hepatitis A series			

予防接種推奨年齢
 未接種者の暫定接種
 接種の確認

上段よりB型肝炎, 三種混合DPT, b型インフルエンザ菌, ポリオ, 麻疹・ムンプス・風疹, 水痘, 肺炎球菌, インフルエンザ, A型肝炎

ACIPの予防接種実施に関する勧告の基礎

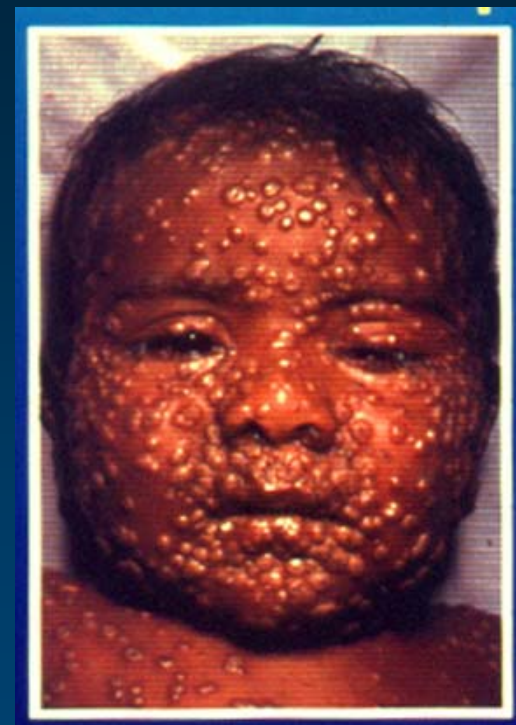
- ワクチン接種により予防可能な感染症の影響力
- ワクチンの安全性
- ワクチンの効率
- 対費用効果
- 公衆衛生面ならびに医療従事者に対しての認識と取り組み

ACIPの現在の課題

- 天然痘ワクチン smallpox vaccine
- 炭疽菌ワクチン anthrax vaccine
- 乳幼児・小児期のインフルエンザ予防接種
- 7価の肺炎球菌ワクチン
(pneumococcal conjugate vaccine [PCV7])
- ワクチンの供給体制の検討
- ワクチンの安全性の検討、など

天然痘の背景

- 1949 米国における最後の天然痘症例
- 1971 米国における種痘接種の終了
- 1977 ソマリアにおける天然痘の自然感染例の最後の症例
- 2002 バイオテロリズムの脅威



種痘ワクチンに関する予防接種に関する諮問委員会の勧告
(2002年)

予防接種により予防可能な感染症の 感染制御における連邦政府と州政府の役割

- 疾病管理予防センター(CDC)
 - 予防接種政策の立案
 - 予防接種により予防可能な感染症に関するサーベイランスの実施
- 食品医薬品局(FDA)
 - 規制と承認
- 連邦法
 - National Childhood Vaccine Injury Compensation Act (1986)
 - FDA/CDC Vaccine Adverse Events Reporting System
 - Vaccines for Children Program (VFC)
 - Title 317
- 州政府
 - 公的医療機関に対するワクチンの配給
 - 就学時の予防接種法

連邦政府諮問委員会 (Federal Advisory Committees)

■食品医薬品局:

- ワクチンならびに関連の生物製剤に関する諮問委員会
(FDA Vaccines and Related Biological Products Advisory Committee [VRBPAC])

■疾病管理予防センター:

- 予防接種実施に関する諮問委員会
(CDC Advisory Committee on Immunization Practices [ACIP])

■保健社会福祉省:

- 米国予防接種諮問委員会
(DHHS National Vaccine Advisory Committee)
- 米國小児期予防接種に関する諮問委員会
(Advisory Committee on Childhood Vaccines [ACCV])

■市民団体、等

- 米国ワクチン情報センター
(National Vaccine Information Center [NVIC])

わが国における課題

- **接種目的の変化＝パラダイム・シフトが起こりつつある！**
 - 集団予防 (I類)・個別予防 (II類)
 - 少子化時代の子どもの保護・家庭への援助
 - 感染症の排除 (elimination)
- **流行疾病の迅速な把握、機動的な対策の樹立**
 - 県・国レベルのサーベイランス情報の解析
 - 対象疾病の監視強化とレベルごとの対策
 - 各分野の先端的情報の交換・ワクチン開発・供給情報
- **強制力のある感染症・予防接種対策の実現**
 - 厚生労働大臣直属のシステムとする
- **中・長期的な予防接種戦略の検討・樹立と広報**
 - 未対象疾患の検討 (ムンプス、水痘、Hib、肺炎球菌など)
 - 医療経済学的検討
 - バイオテロへの対策・ワクチン輸入の検討
 - **High risk**者の選定と広報
- **ワクチン効果・副反応の検討＝小児治験システムの樹立**
 - 医師主導治験 (成人・老人?)
 - 全国のこども病院を核とすると小児治験システムの樹立